

具体的な実証方法①

被験者が「NOBORIアプリ」をインストールし、実証実験期間中に以下①～⑤の項目の機能を利用。健康データの可視化や家族との共有が自身の健康に関する意識、行動の変化につながるかなどについて、実証実験終了後に、被験者及び実証フィールドである新生翠病院の医師・スタッフにアンケート調査を実施する。

システム連携のため新生翠病院の既存システムを改修

被験者(患者)がNOBORIアプリをインストール

被験者が下記①～⑤の機能を利用

被験者及び医師、医療スタッフへアンケート・ヒアリング調査

①医療情報をスマホで確認・保管

検査結果



画像データ

・スマホから検査結果の他、処方・注射情報や画像データ、各種文書等の医療情報を簡単に確認する

②家族との情報共有

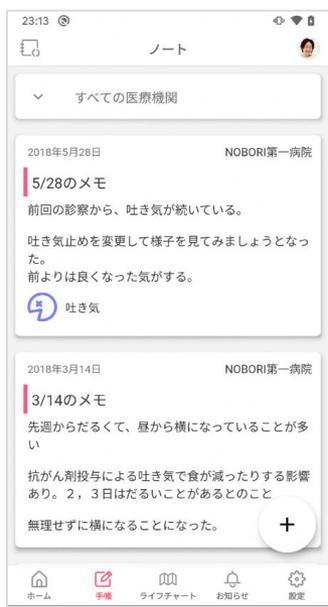
家族情報の確認



・家族に医療情報を共有、また、家族から医療情報の共有を受けることが可能であり、お子さんや介護をしている親などの医療情報を確認することで、遠方に住む家族の見守りにつながる

③ノート・血圧・ワクチン接種記録

ノート



血圧手帳



・ノート機能を利用することで、来院時や日々の体調(血圧等)について記録することができ、その他、ワクチン接種記録なども確認することが可能

具体的な実証方法②

④ヘルスケアアプリ内情報の確認

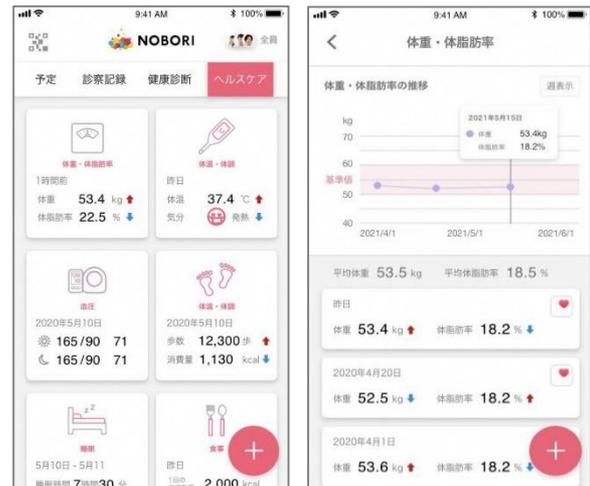
ライフチャート



・生まれてから今までの医療情報とヘルスケア情報を俯瞰的に閲覧

ヘルスケアデータ

(開発中の新規View)



・アップルヘルスケアやGoogle Fitからスマホに保存される健康情報を取得し表示

マイナポータルとの連携



⑤病院から患者への連絡

通知機能



患者を選択して通知を送ることができます。



アプリから病院の通知を確認することができます。

トーク機能



チャットベースで、患者への保健指導等を行うことができます。病院側には未読・機能が用意されています。(患者側は無し)

・通知機能やトーク機能を使用し、医療機関から患者への連絡を行う



【新生翠病院】



【荒尾市】



【PSP株式会社】

【新生翠病院】

「地域に愛され 信頼される病院へ」。昭和31年緑ヶ丘療養所として開院、その後平成29年に新生翠病院へ名称変更後、地域に愛される病院づくりを目指し、多職種が共同し患者さんの自立支援をサポートしています。また様々な予防医療を行っており、今回のプロジェクトではIT技術を活用したスマートヘルスケアの実証の場を提供します。

【荒尾市】

「ウェルビーイング × スマートシティ」。ウェルネス拠点の健康志向のまちづくりとスマートシティの先進的技術を融合し「幸せ」志向のまちづくりの全市域的な展開をめざし、令和2年10月に「荒尾ウェルビーイングスマートシティ実行計画」策定。ヘルスケアデータの蓄積・分析・利活用を可能とする仕組みを構築し、より市民が幸せを感じられる快適未来都市を目指します。

【PSP株式会社】

「医療情報をみんなの手に、そして未来へ」。IT 技術によって、胸部X 線、CT 画像など大容量の医療情報データを、複数のデータセンターで管理するサービスや、日本初のマイナポータルとの連携を可能としたPHR・医療情報共有アプリの技術を用いてスマートヘルスケアを実現します。

アプリケーション
ダウンロードQRコード

